

# 緑化だより

No.133 平成29年11月号



つばき園前 もみじ谷

- 季節の花(ススキ)
- 小さな世界こけ(コケの分類その1)
- 昆虫の話(温室ジャンプ)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

11月は休園日ありません



ryokka 緑学の森  
**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**  
〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

# 季節の花

## ススキ

「人皆は 萩を秋と言う よし我は 尾花が末(すえ)を 秋とは言はむ」

巻10:2110 作者未詳

これを現代語に訳しますと

「世の人々は萩の花こそ秋を代表するものだという。よしそれならば、私は尾花の穂先こそ 秋一番の風情だと思ふ」となります。つまり ススキの穂が風に吹かれて波のように揺られて輝いている様子が、秋らしい趣のある風情だといっています。

ススキは万葉集では萩について、たくさん詠まれている秋の七草の一つです。細い茎に沢山の花穂を付けて強く生きている様子は、日本人の心にしみてきます。

ススキはイネ科の植物で、日本には全国の、日当たりのよい山野に自生し、国外では朝鮮半島、中国、台湾に分布しています。夏から秋にかけて茎の先に赤味を帯びた花穂をつけます。花の基部は白い毛が生えて白っぽく見えます。種子は穎果(えいこ)という玄米の状態で「もみがら」に包まれています。この「もみがら」の基部に長い白い毛があり、風によって飛ぶことができ、これを風散布と言います。ススキは漢字では「薄」「芒」ともいわれ「薄」(和製漢字)は草むらを表し、「芒」は中国のいい方です。ススキは俳句の季語では秋ですが、春は「焼野の薄」、夏は「青薄」、冬は「枯薄」、一年を通じて、四季折々に登場します。



ススキ



ススキの花

ススキの別名は「尾花」「茅」とも言い、「尾花」は動物のシッポに似ているからです。茅「カヤ」は屋根の吹き替えや、牛、馬のエサに利用された有用植物からです。

古くから伝統行事である中秋の名月(満月)には、ススキは団子と共になくてはならないお供え物で、五穀豊穡の祈願に使われてきました。昔から、ススキは私たちの生活に、なじみの深い、秋の七草の一つです。秋風に揺れる花穂の姿は、心に深い哀愁を誘います。北米ではススキがクズとともに有害外来生物と指定されて嫌われているのは、複雑な心境ですね。(上村)

## 小さな世界 こけ

### コケの分類(その1)

コケは蘚苔類とも呼ばれ、スギゴケやハイゴケなどのセン(蘚)類、ゼニゴケなどのタイ(苔)類、そしてツノゴケ類の3つのグループに分けられます。

種類はセン類が一番多く、日本では1000種類以上が知られています。次に多いのはタイ類の620種類、ツノゴケ類は少なく17種類となっています。

その3つの違いはどのようになっているのでしょうか? それぞれの特徴を見てみましょう。

セン類は、立ち上がるタイプと匍匐するタイプがありますが、①すべて茎と葉があり、この形状を**茎葉体**と言います。葉のかたちは種類によって違いがあります。②孢子体は、孢子の入った**蒴**と蒴を支える**蒴柄**からなり、蒴には蒴を保護する**帽**と**蓋**があります。又、蒴の開口部には孢子の散布を調節する**蒴歯**があります。③孢子を飛ばした後も、枯れて茶色になった孢子体は残ります。以上がセン類の大きな特徴です。次号に続く(山根)



ハチデレゴケの帽をつけた蒴



ハチデレゴケの蒴歯

## 昆虫の話

### 温室ジャンプ

スポーツの秋がそろそろ終わり、冬ごもりの時期を迎えると、秋の昆虫も一つ、また一つとその姿を消していきます。そんな中、昆虫館のビニール温室には、寒い冬をまだ迎えたくないと、どこからか昆虫たちが入ってきて、ぬくぬくとやっているのです。その中でもひととき元気なスポーツマンが「**ノミバッタ**」です。

ペットを飼っている人にはおなじみの「**ノミ**」は、動物の血を吸い、小さく、驚異のジャンプ力を持つ昆虫です。「**ノミ**」の名を冠したこのバッタは、その名の通り小さく、驚くべきジャンプ力のあるバッタのなかまなのです。

彼らはバッタのなかまではとても小型の種の一つです。しかし、そのジャンプ力は他のバッタの追随を許しません。なんと、体長約5mmの彼らは、一回のジャンプで約1mもの距離を飛ぶことができます。体長の200倍もの距離をジャンプできるバッタは他にはいません。

なぜ、そんなにも跳躍ができるのでしょうか。それは彼らの後脚を見れば一目でわかります。体を覆い隠してしまうほどに立派な後脚には、跳躍に使う強力な筋肉が入っており、その筋肉の弾けるような伸縮の力を支える関節はとても頑丈に作られています。また、その体の形も特徴的で、まるで未来のモーターバイクのような流線型の体は、空気の抵抗を無くすのです。鈍くメタリックに輝き、「機能美」を追求した彼らの姿の格好良さは昆虫界随一です。

そんな彼らに、温室は暖かさだけでなく、彼らにとって居心地のいい少し乾燥した砂地を提供しているのです。しかし、さすがに彼らも植物のために撒かれる冷たい水には困っているようで、水撒きをしているとピョンピョンとあわてて逃げ惑う姿がよく見られます。

(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



ミのように小さなバッタ



機能美を追求した強靱な足と流線型のフォルム

## 研修会のご案内

- |  |   |
|--|---|
| ○11月7日(火)『 <b>果樹の手入れ 秋</b> 』<br>果樹の秋の手入れについて学びましょう<br>※自由参加・無料               | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：元県立農業技術センター 果樹研究部<br>三原分室室長 石井 實 |
| ○11月8日(水)『 <b>11月の自然探勝</b> 』<br>紅葉彩る緑化センターを歩こう<br>※自由参加・無料                   | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：緑花文化士<br>横山 直江                   |
| ○11月11日(土)『 <b>秋のバードウォッチング</b> 』<br>紅葉の中の野鳥を観察しよう<br>※自由参加・無料 双眼鏡持参          | 10:00～12:00 管理事務所前 集合<br>講師：日本鳥類保護連盟会員<br>吉見 良一           |
| ○11月13日(月)『 <b>秋の写真教室</b> 』<br>落ち葉の流れを撮ろう<br>※要予約(先着20名)・無料 カメラ持参            | 10:00～12:00 学習室 集合<br>講師：二科会会員<br>宗岡 泰昭                   |
| ○11月19日(日)『 <b>つづらふじでカゴ作り</b> 』<br>あなたの手で世界に一つのカゴ作り<br>※要予約(先着15名)・材料費1,500円 | 10:00～14:00 学習室 集合<br>講師：つづらふじ造形作家<br>飛河 道雄               |
| ○11月23日(木・祝)『 <b>整枝・剪定講座</b> 』<br>秋の樹木の手入れを学ぼう<br>※要予約(先着20名)・無料 剪定バサミ・手ノコ持参 | 10:00～12:00 <b>緑の相談所</b> 集合<br>講師：樹木医<br>難波 正孝            |

### ◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

- ・つづらふじ手作りカゴ作品展  
～11月11日(土)
- ・ふれあい湧 クラフト作品展  
11月12日(日)～12月24日(日)

場所:学習展示館

- ・緑化センターの四季写真展

### ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

- ・“秋のおでかけキャンペーン” ～11月12日(日)  
隣接する市森林公園を巡るスタンプラリー  
両園でスタンプを押して景品ゲット!  
さらに抽選で“お楽しみ袋”プレゼント
- ・もみじ祭り ～11月19日(日)  
園内5カ所でクイズに答えて景品ゲット!
- ・お楽しみイベント11月3日(金・祝), 12日(日)  
場所:レストハウス周辺  
ネイチャーゲーム、クラフト、落ち葉のプール、花苗販売など

### ～森林公園イベント情報～

- ・11月3日(金・祝)『**森林公園開園記念日**』紅葉まつり  
10:00～ 各種コンサートやイベント多数・ひろしま「森の市」も開催  
芝生広場特設会場
- ・11月5日(日)『**自然観察会**』(樹木観察)  
13:30～15:30 (受付13:00～) 芝生広場  
「東区緑のボランティアの会」の人の解説を受けながら樹木観察をしよう



ふれあい湧クラフト作品展より

